

平成28年度 第1回「生徒による授業アンケート」の集計結果等について（3学年）

時下、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび「生徒による授業アンケート」を実施し、貴重なデータを得ることができました。現在、その集計結果を受け、各教科で分析するとともに授業改善への手立てを検討し、研究授業を実施するなど授業の質を今まで以上に高める取り組みを進めております。

つきましては、各教科における集計分析結果及び授業改善への取り組みの概要をご覧いただき、ご質問・ご意見等、お気づきの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。

（厚木北高校 副校長 046-241-8002）

1. アンケートの実施日

平成28年7月14日（木）

2. 各教科の集計分析・授業改善（概略）

国語	集計分析	現代文では、ほとんどの項目で、3・4を選択した生徒が多かったが、「話し合いや発表をする機会がある」、「達成感」の項目では2が少なくなかった。また低い評価にはクラスによるバラつきもあったのが気がかった。 古典Bでは、予想されたことだが生徒の科目への取りつきにくさ、抵抗感が目立つ。いろいろと授業改善を試みてはいるが、この壁の克服は容易ではない。
	授業改善	現代文では、教材に目を配り、引き続き生徒の理解度に合わせた丁寧な授業を心がけ、生徒の発言を大切に、共同作業をさせたり、発表の機会を多く与えるようにしたい。 古典Bでは、生徒の興味・関心を喚起すべく日本語のおもしろさや、作品・歴史背景などを、できる限り具体的に伝える努力をする。また、教員サイドの一方的な授業を避けるべくプリントの配布、書き込み、提出の義務付けなどを行い、生徒参加型の授業を進める。
地歴・公民	集計分析	日本史Aは概ね良い評価であったと思う。「話し合いや発表の機会がある」の項目が低いのが目についた。 日本史Bでは、各分野で80%前後の生徒が3・4を選択している。その中で生徒の取り組み状況の「予習・復習をしている」の項目が特に低い評価となっている。 政治経済では、いずれの項目も3・4を選択した生徒が多かったが、「授業内容の理解」、「達成感」の項目がやや低かった。
	授業改善	日本史Aでは、評価の低かった「話し合いや発表の機会」を適切な場面・時期に多く取れるよう授業の工夫を行いたいと思う。 日本史Bでは、学習習慣を身につけさせる必要がある。小テストなどを定期的に行うことで復習の習慣を、課題を与えるなどして予習の習慣を身につけさせていきたい。 政治経済では、学習内容のさらなる定着を目指すため、復習問題を行うなど、学習内容を理解できているか確認する機会を増やしたい。
数学	集計分析	各科目とも理系の科目で、学習内容が多く、専門性も高いため、授業内容に対する生徒の評価が高かった。授業内容の項目で3・4の評価が60%～80%以上であり、その他の項目でも同様の評価が得られている。しかし、学習内容が多く専門性が高いという点から、生徒主体に授業を展開したり、生徒自らが分かろうとする意識が低くなりがちなので、その点を工夫することが課題である。
	授業改善	全体的に、生徒の満足度は高いが、理解度に差が見受けられる。家庭でも振り返って学習できるようプリントを用い、ときには放課後の時間を活用して、個別対応で理解度の差が出ないよう工夫していく必要がある。また、生徒が主体的に取り組めるような、授業展開の工夫も必要である。

平成28年度 第1回「生徒による授業アンケート」の集計結果等について（3学年）

理科	集計分析	理系の科目では、70～80%の生徒が3・4の評価をすべての項目につけている。その中で、評価が低いのは「予習・復習の取り組み」で、特に物理、生物で取り組み状況が悪いと自己評価した生徒が多かった。また、物理では指導方法に関して評価の低い項目があり、生物では授業内容が理解できていないと評価したものが多かった。 1組の物理基礎では、「わかりやすさ」「きめ細かい指導」「授業マナー」等の項目の評価が高い反面、「授業内容が理解できている」の評価が低かった。
	授業改善	理系の科目では専門性が高く学習内容も多いのだが、ほとんどの生徒がわかるよう努力して意欲的に取り組んでいる。生徒主体の授業を工夫することで、学習内容のレベルを保ちつつ理解が深まるようにしていきたい。また、家庭学習の習慣化を促すような課題を準備していきたい。 1組の物理基礎では、授業内容への理解度を上げるために、今後も生徒一人ひとりに向き合った授業を続けていきたい。
保健体育	集計分析	体育においては、全項目において90%以上の生徒が「3」「4」の評価であり、とても高い満足度を得ている。全体的に取り組む状況は良好であるので引き続き、生徒の発達段階に合わせた、きめ細かい指導をしていきたい。
	授業改善	自分が学びたい球技種目を選択する授業であるため、多数の生徒が積極的・前向きに取り組んでいる。しかし、現状に甘んじることなく、生徒のニーズに応えつつ、より分かり易い授業にしていきたい。また、アンケート結果の中で「予習・復習をしている」の数値が他に比べ低いことが分かった。健康の保持増進や生涯スポーツという観点から、授業以外でも運動に取り組むような働きかけを積極的にしていきたい。
英語	集計分析	「コミュニケーション英語Ⅲ」、「発展英作文」ともに、おおむね80%の生徒が「当てはまる」もしくは「やや当てはまる」という評価をつけていた。「コミュニケーション英語Ⅲ」では、特に「生徒の発言を大切にしている」という項目で高評価を得ていたが、これは習熟度別授業を実施していることと関連があるのではないと思われる。
	授業改善	「コミュニケーション英語Ⅲ」、「発展英作文」ともに、「話し合いや発表をする機会がある」という項目の評価がやや低かった。インプット中心の授業になりがちだが、生徒が自ら考え、発表することができるような工夫をしていきたい。
家庭	集計分析	約80%以上の生徒が授業内容・指導方法とも3・4を選んでおり、おおむね良好な評価を得たと判断している。しかし、昨年度と異なり2時間続きの授業ではないので、実習時間が短くなってしまい、専門用語や実習内容の理解がしにくいと感じている生徒もいた。
	授業改善	授業目的を明確にし、生徒が意欲的に取り組める達成感のある授業を展開していきたい。また、生徒が主体的に考えられる教材や話し合い、発表の場を準備し、今後も自ら課題を見つけ解決する能力を伸ばす工夫をしていきたい。